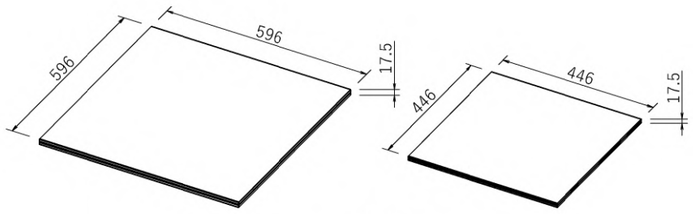
【Mallirm】マリムシステムキット標準施工手順書

1 梱包内容の確認

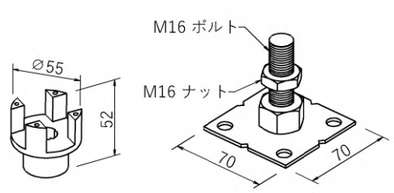
2023年04月01日

1-1 梱包内容

部品名 (呼称)			サイズ		材質・構成
一般フロートガラス		高透過ガラス	W × L		
ホワイト不透明タイプ	透明タイプ	ホワイト不透明タイプ			
FM-6060	FC-6060	LM-6060	596	596	強化合わせガラス (板厚 約17.5㎜) 滑り止め加工付き
FM-4545	FC-4545	LM-4545	446	446	
FH	樹脂製ホルダー		ナイロン成型品		
BP-BNS	ベースプレートセット		St ユニクロメッキ		
BW	ベースワッシャー		St ユニクロメッキ		
FW	フレームワッシャー		St ユニクロメッキ		
FB	フレーム固定ビス		St ユニクロメッキ		
F-1	アルミフレーム (4m/本)		A6063S-T5 (アルマイトシルバー)		
F-2	支持部緩衝材		EPDMゴム(ライトグレー)		
FT-1	位置決めインサート		ポリカーボネート成型品		
FT-4 (オプション)	外枠用緩衝材 (5m/本)		EPDMゴム(ライトグレー)		
FT-5	端部固定ブロック		EPDMゴム(ライトグレー)		

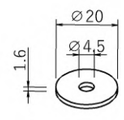


床ガラス
(品名：FM,FC,LM)



樹脂製ホルダー
(品名：FH)

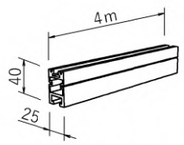
ベースプレートセット
(品名：BP-BNS)



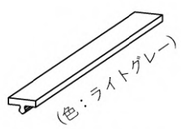
ベースワッシャー
(品名：BW)

フレームワッシャー
(品名：FW)

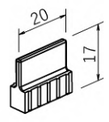
フレーム固定ビス
(品名：FB)



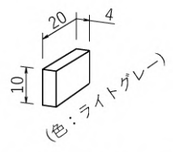
アルミフレーム
(品名：F-1)



支持部緩衝材
(品名：F-2)

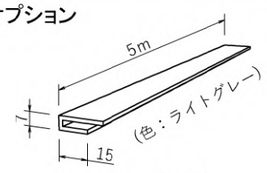


位置決めインサート
(品名：FT-1)



端部固定ブロック
(品名：FT-5)

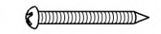
オプション



外枠用緩衝材
(品名：FT-4)

1-2 お客様にご用意いただくもの (梱包内容には含まれておりません。)

・ベース固定ビス
　木下地の場合　：St or SUS なべ木ねじ　呼び径4.1-L25程度
　鉄骨下地の場合　：St or SUS タッピングねじ(ドリルねじ)等　M4程度
　RC造、ALC造の場合 ：フィッシャープラグ等をご使用いただき、プラグ専用のビスをご用意ください。
　※ベース固定ビスの必要本数は、ご購入されたベースプレートセット数×4本になります。
　※ベースワッシャーの内径は∅4.5です。

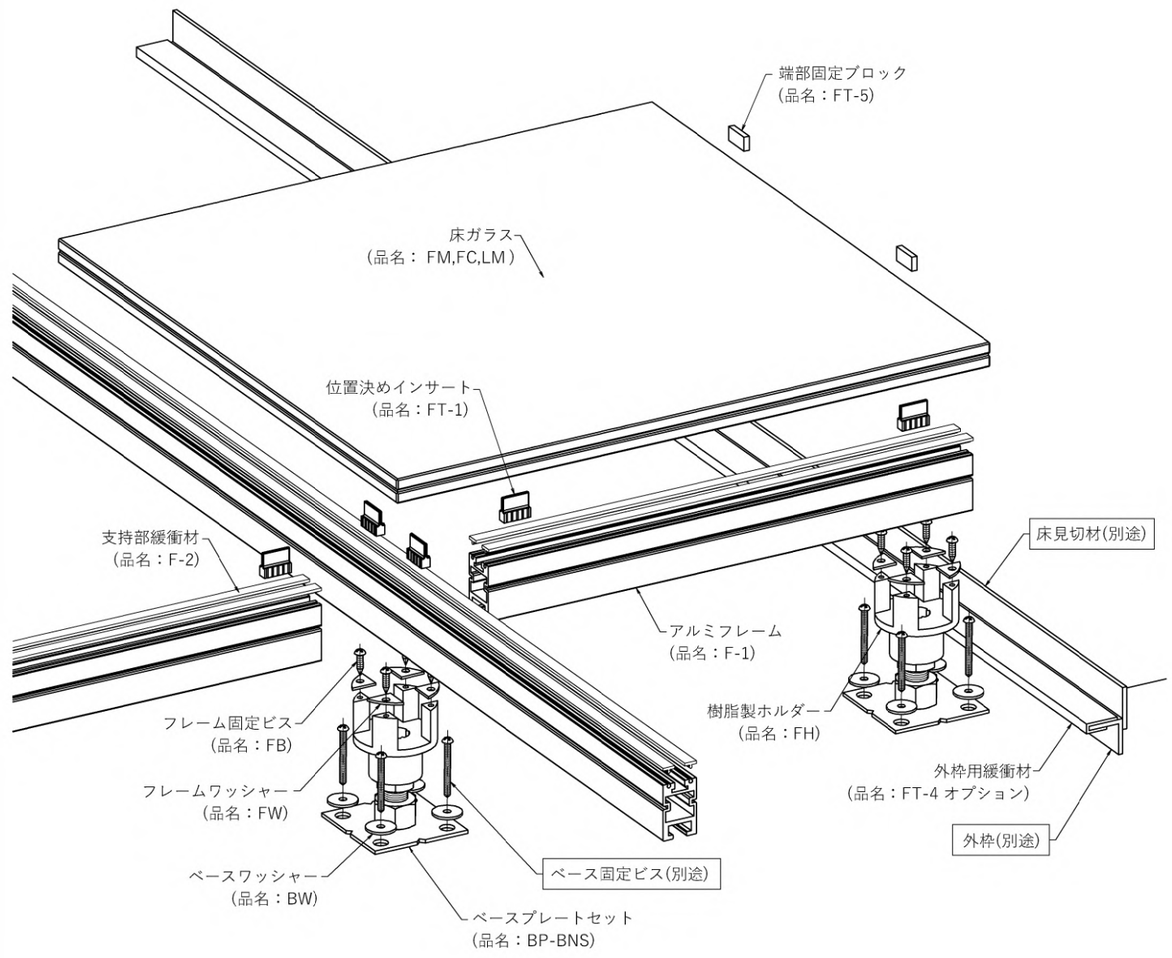


ベース固定ビス
(別途)

フィッシャープラグ
(別途)

・床見切材及び外枠　※[2-1]～[2-4] ベースプレート取付面と外枠の製作、及び[3] ベースプレート固定位置の墨出しをご参照ください。
・ライナー等　※ベースプレート設置の際に傾きができる場合は、[4-3] ベースプレートの傾き調整をご参照ください。
・端部固定ブロック　※端部の目地幅が4㎜を超える場合は、[8-1] 床ガラスの設置をご参照いただき、お客様にてご用意ください。
・シーリング剤　※シリコーン系ガラス・アルミ用をご用意ください。
・厚み2㎜のゴムシート　※ご用意された外枠に弊社の緩衝材が合わない場合は、[5] 外枠用緩衝材の取付けをご参照ください。
・クリアランスゲージ　※[6-1] アルミフレーム設置をご参照ください。

1-3 組み立て参考図



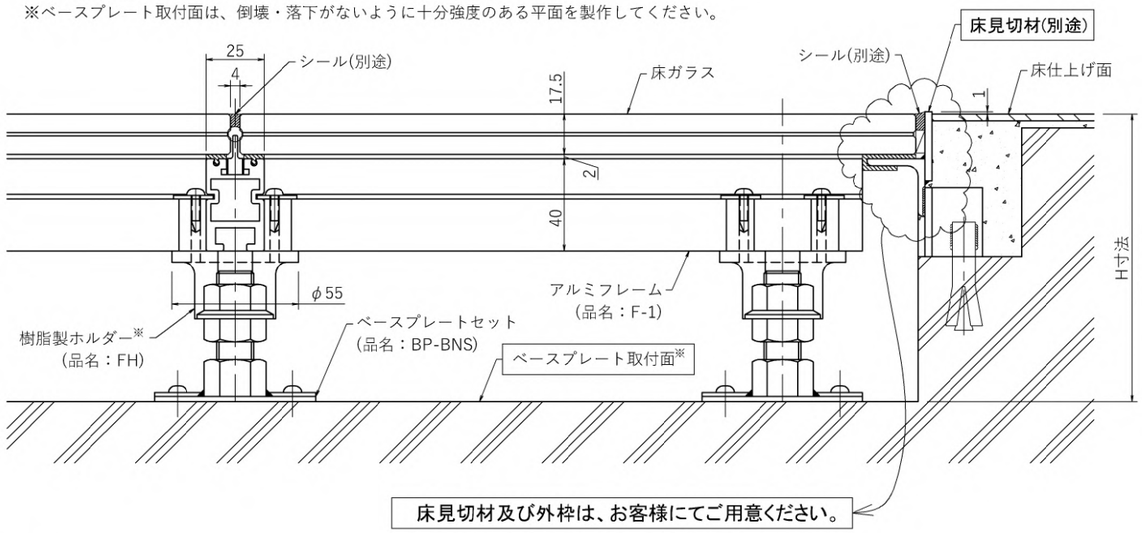
(注) 実際の製品はイラストと多少異なる場合があります。

Copyright 2005 DEVICE, Inc. All rights reserved.

2 ベース取付面と外枠の製作

2-1 ベースプレート取付面の製作

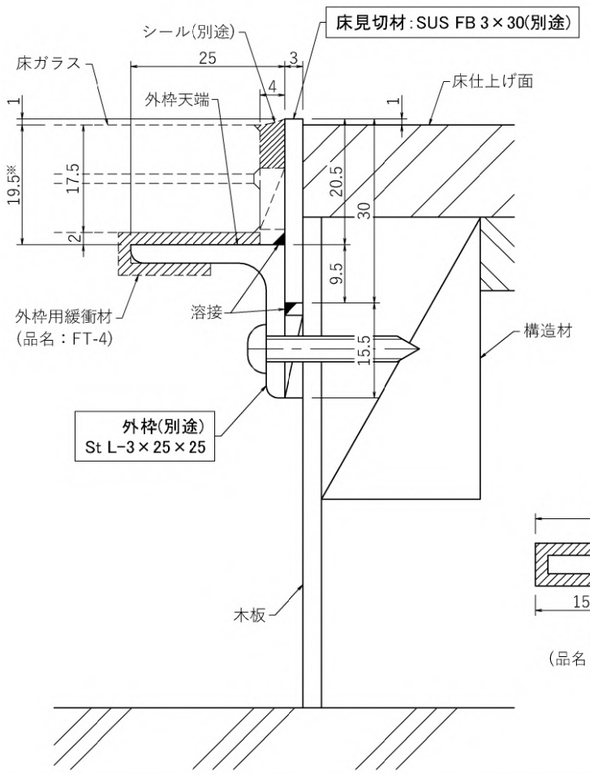
・お客様がご購入時に指定されたH寸法にて、ベースプレート取付面を製作してください。
※樹脂製ホルダーの不陸調整シロは、±7㎜になっています。[4-4]樹脂製ホルダーの高さ調整をご参照ください。
H寸法は調整範囲内で製作してください。
※ベースプレート取付面は、倒壊・落下がないように十分強度のある平面を製作してください。



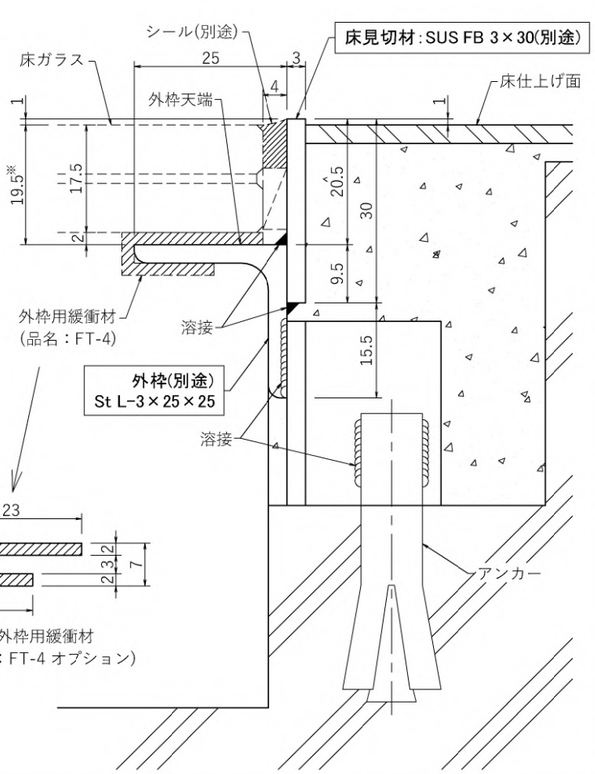
2-2 外枠の参考図

・下図を参考にお客様の環境に適した外枠を製作してください。
※外枠の天端を床仕上げ面から19.5㎜下がった位置に合わせて、確実に構造体に固定してください。寸法公差±1㎜以内にしてください。

木造の場合（参考図）

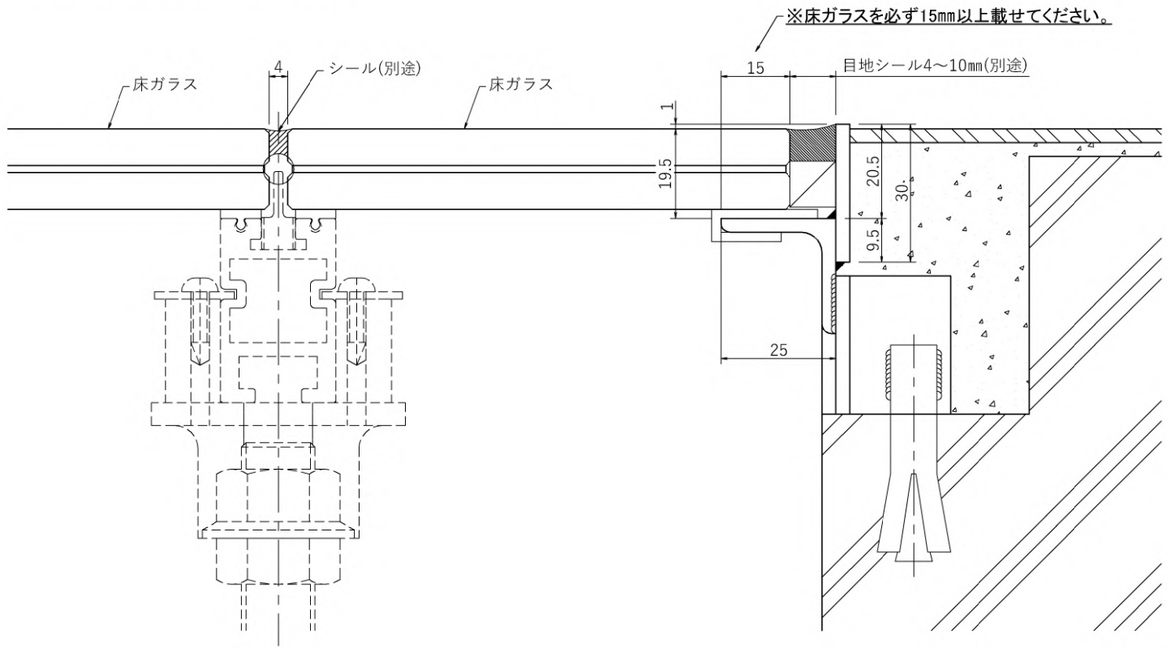


RC造の場合（参考図）



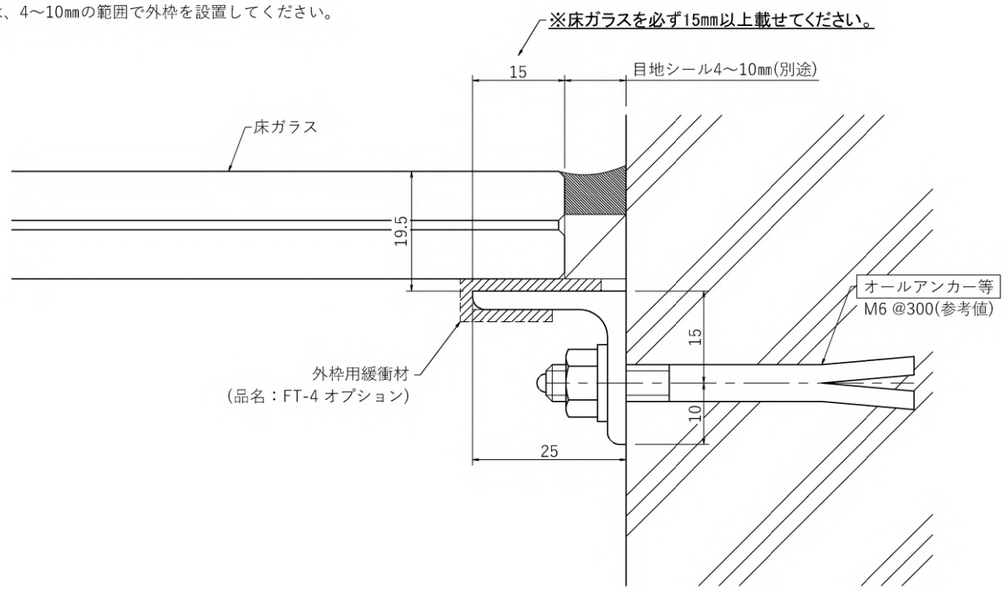
2-3 目地納まりについて

・ガラス同士の目地部は、目地幅が4㎜になります。
・端部目地幅は、4～10㎜の範囲で外枠を設置してください。
※シーリング材はお客様にてご用意ください。



2-4 壁納まりについて

・端部目地幅は、4～10㎜の範囲で外枠を設置してください。



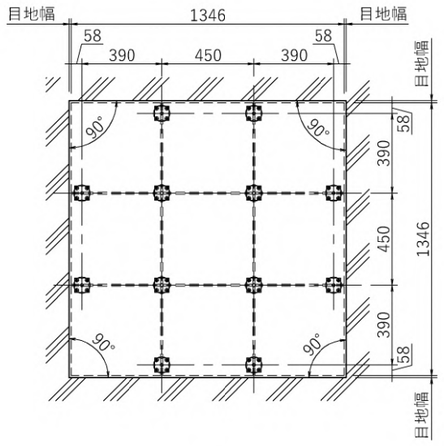
※施工者チェックリスト【1.ベースプレート取付面と外枠の製作】を
必ずチェックしてから次にお進みください。

Copyright 2005 DEVICE, Inc. All rights reserved.

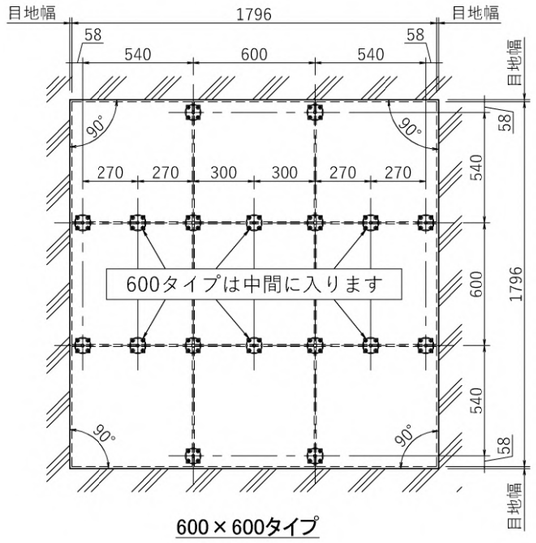
3 ベースプレート固定位置の墨出し

各タイプのベース芯寸法 (例：床ガラスが9枚の場合)

・ご購入いただいたタイプの寸法図をご参照いただき、ベース芯を墨出ししてください。

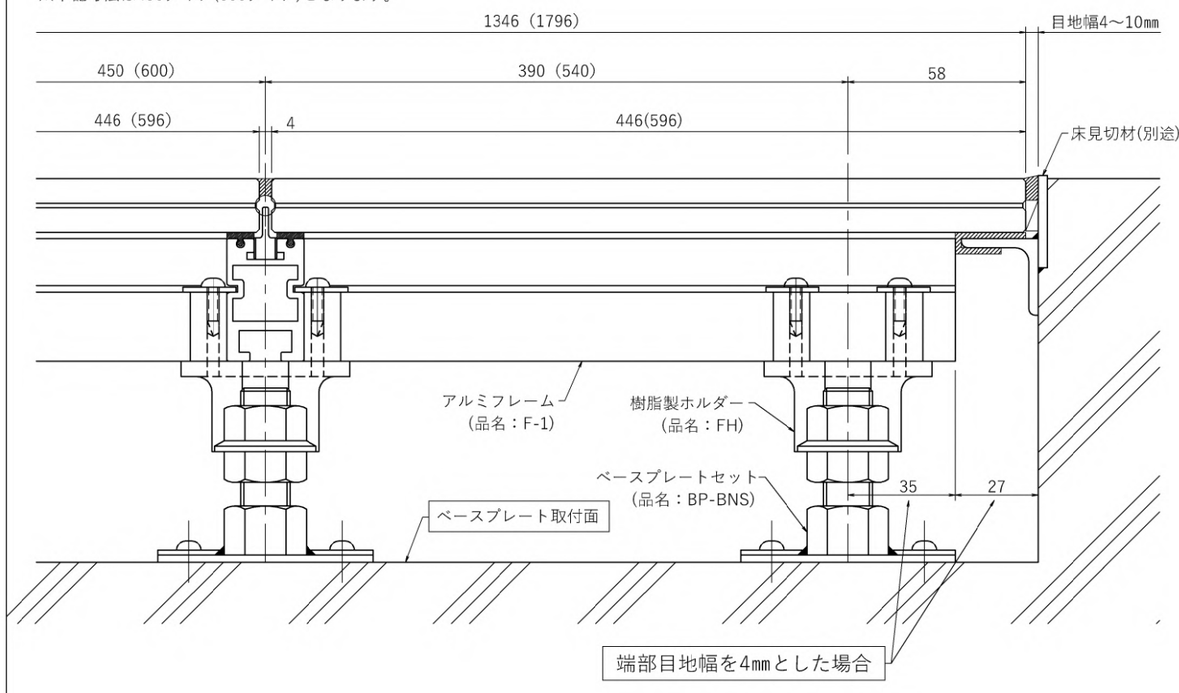


450×450タイプ



600×600タイプ

※下記寸法は450タイプ(600タイプ)となります。

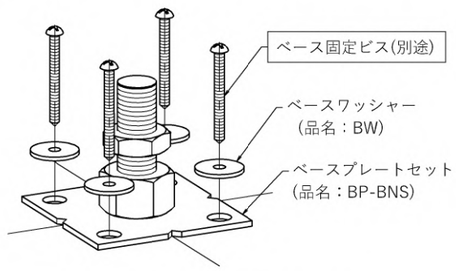


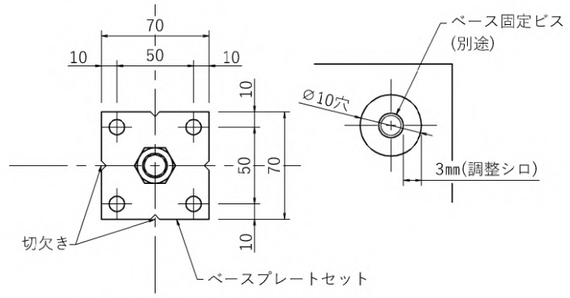
※施工者チェックリスト【2.ベースプレート固定位置の墨出し】を必ずチェックしてから次にお進みください。

4 ベースプレートの固定

4-1 ベースプレートの仮止め

・ベース芯にベースプレートの切欠きを合わせて位置を決め、ベース固定ビス(構造に合ったものをご用意ください)で仮止めします。
※ベース固定ビス(別途)の本数はベースプレート1箇所に4本必要となります。
※ベースプレートの取付穴はルーズ穴ですので、付属のベースワッシャーをご使用ください。
ルーズ穴には片側3mmの調整シロがあります。



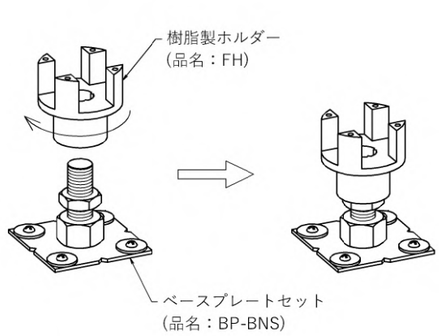


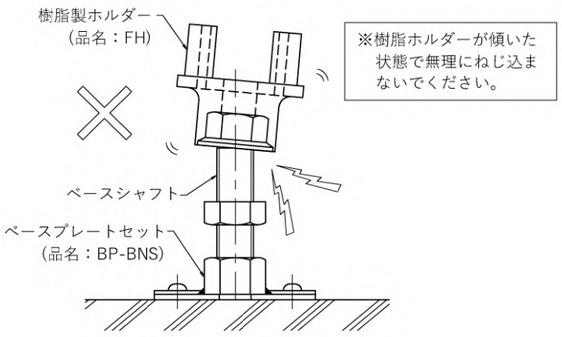
ベース穴位置寸法図

※ベース固定ビスは別途です。お客様にてご用意ください。
木造の場合はφ3.8～φ4.2の木ビスをご使用ください。
RC造、ALC造の場合はM4のビス＋フィッシャープラグ等をご使用ください。

4-2 樹脂製ホルダー取付け

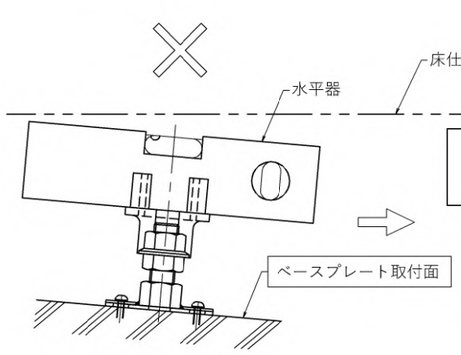
・樹脂製ホルダーをベースシャフト(ねじ部)に回しながら垂直に差し込んでください。
※樹脂製ホルダーが傾いた状態で無理にねじ込むとベースシャフト破損の原因になりますのでご注意ください。



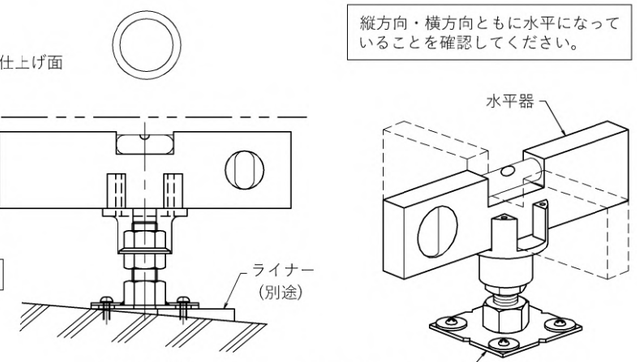


4-3 ベースプレートの傾き調整

・水平器を使用して傾きがないことを確認後、ベースプレートを確実に固定してください。
傾きなどがある場合、ライナー(別途)などを差し込んで水平にしてください。



傾いている状態

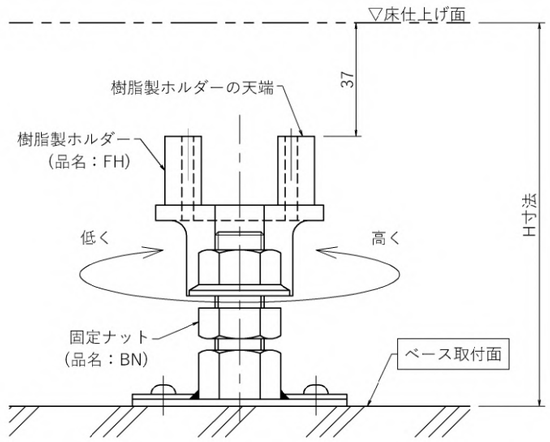


水平の状態

Copyright 2005 DEVICE, Inc. All rights reserved.

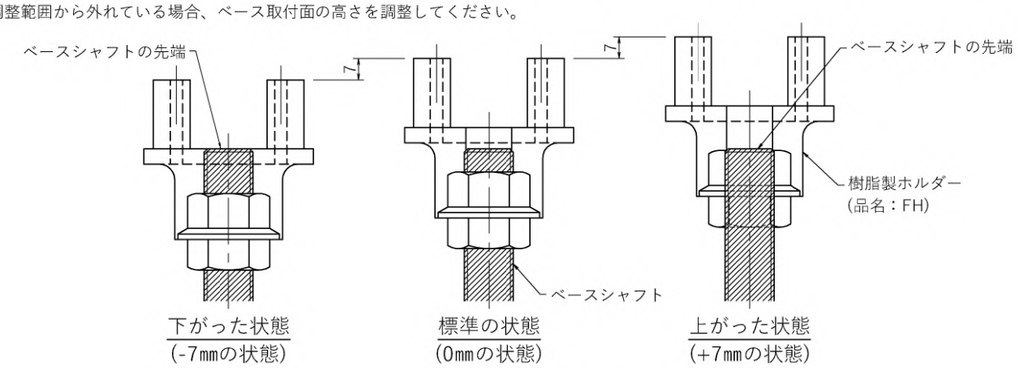
4-4 樹脂製ホルダーの高さ調整

・**樹脂製ホルダーの天端は床仕上面から37㎜** になります。
樹脂製ホルダーを回して、37㎜丁度になるように調整してください。
※樹脂製ホルダーを1/4回転させると0.5㎜ずつ調整できます。
右に回すと低くなり、左に回すと高くなります。



・樹脂製ホルダーは **±7㎜の高さ調整** が可能です。

・高さ調整範囲から外れている場合、ベース取付面の高さを調整してください。

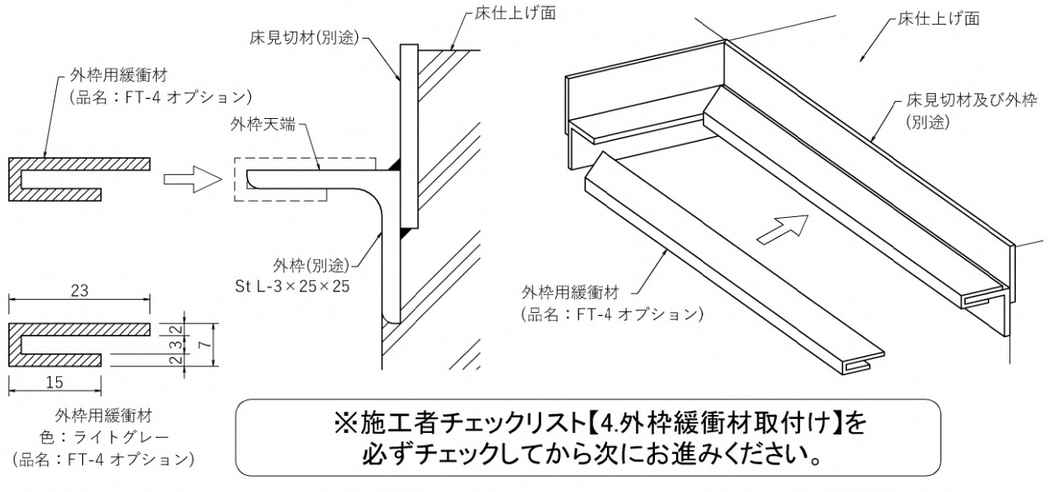


±7㎜の調整範囲
この範囲内にて調整をお願いいたします。

※施工者チェックリスト【3.ベースプレートの固定】を必ずチェックしてから次にお進みください。

5 外枠用緩衝材の取付け

・外枠に弊社の **外枠用緩衝材(品名:FT-4 オプション)**、又は **厚さ2㎜のゴムシート(別途)** 等を取り付けてください。

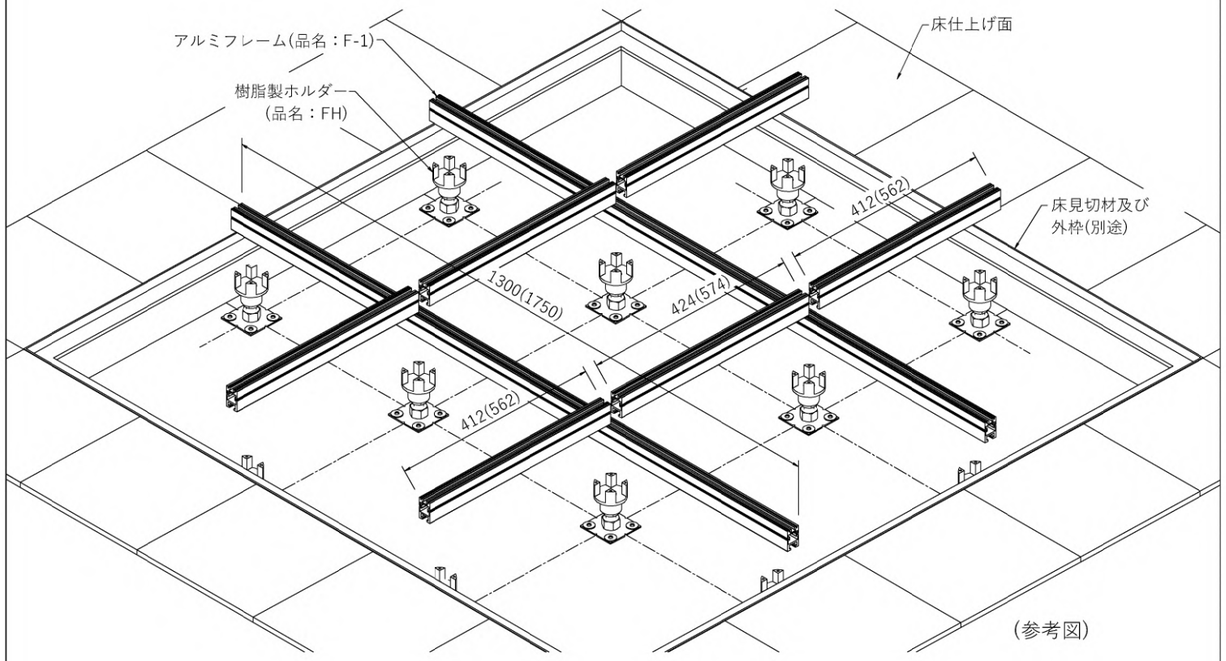


※施工者チェックリスト【4.外枠緩衝材取付け】を必ずチェックしてから次にお進みください。

6 アルミフレームの設置

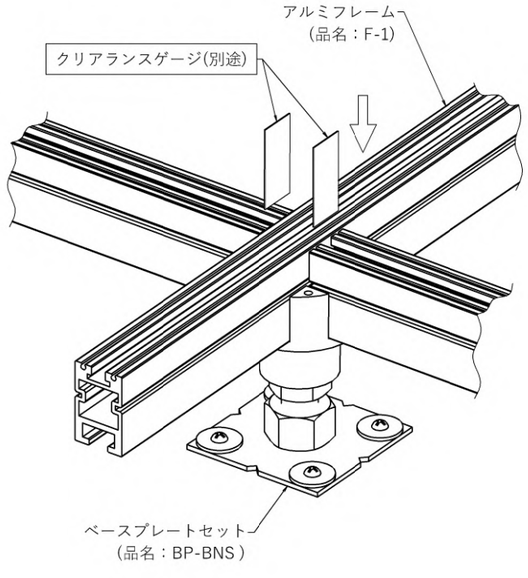
6-1 アルミフレームの設置 (例：床ガラスが9枚　端部目地4㎜の場合)

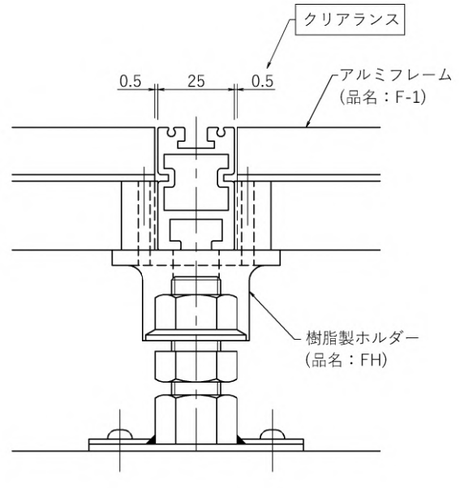
・ご注文いただいたタイプに合わせてアルミフレームを切断し、樹脂製ホルダーに確実に載せてください。
※下記寸法は450タイプ(600タイプ)となります。



(参考図)

上記のアルミフレームの寸法は、片側0.5㎜のクリアランスを考慮した寸法値です。
・アルミフレームのメタルタッチ防止に、0.3～0.5㎜程度のクリアランスゲージ等を使用してクリアランスを保ってください。
(参考)はがきの厚みは0.3㎜です。

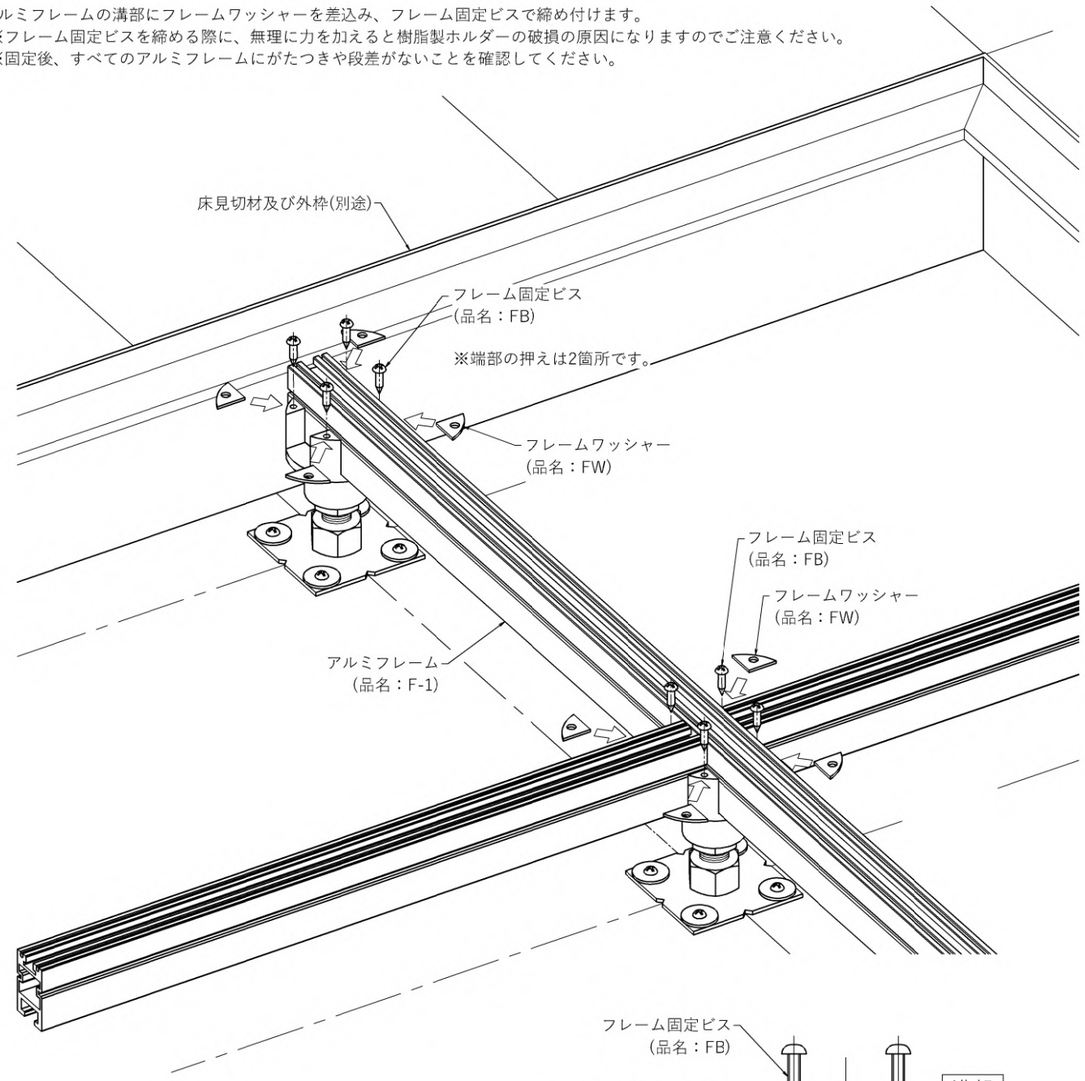




Copyright 2005 DEVICE, Inc. All rights reserved.

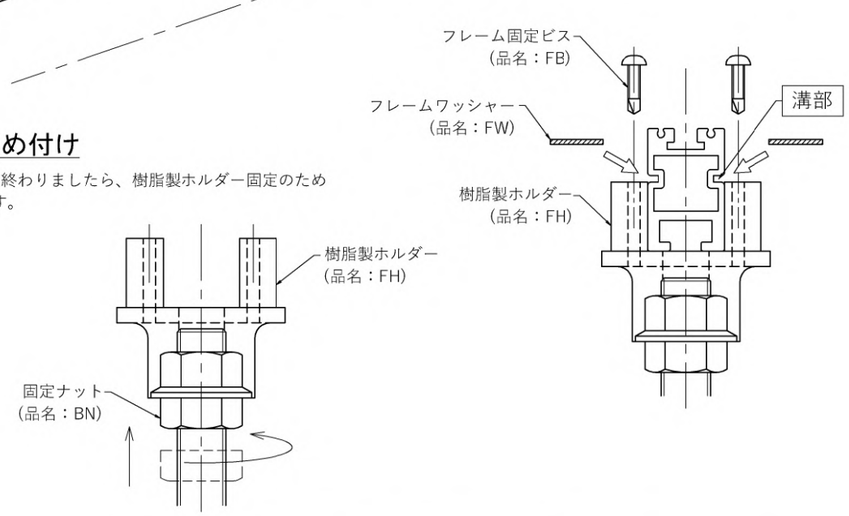
6-2 アルミフレームの固定

・アルミフレームの溝部にフレームワッシャーを差込み、フレーム固定ビスで締め付けます。
※フレーム固定ビスを締める際に、無理に力を加えると樹脂製ホルダーの破損の原因になりますのでご注意ください。
※固定後、すべてのアルミフレームにがたつきや段差がないことを確認してください。



6-3 固定ナット締め付け

・アルミフレームの設置が終わりましたら、樹脂製ホルダー固定のため
固定ナットで締付けます。

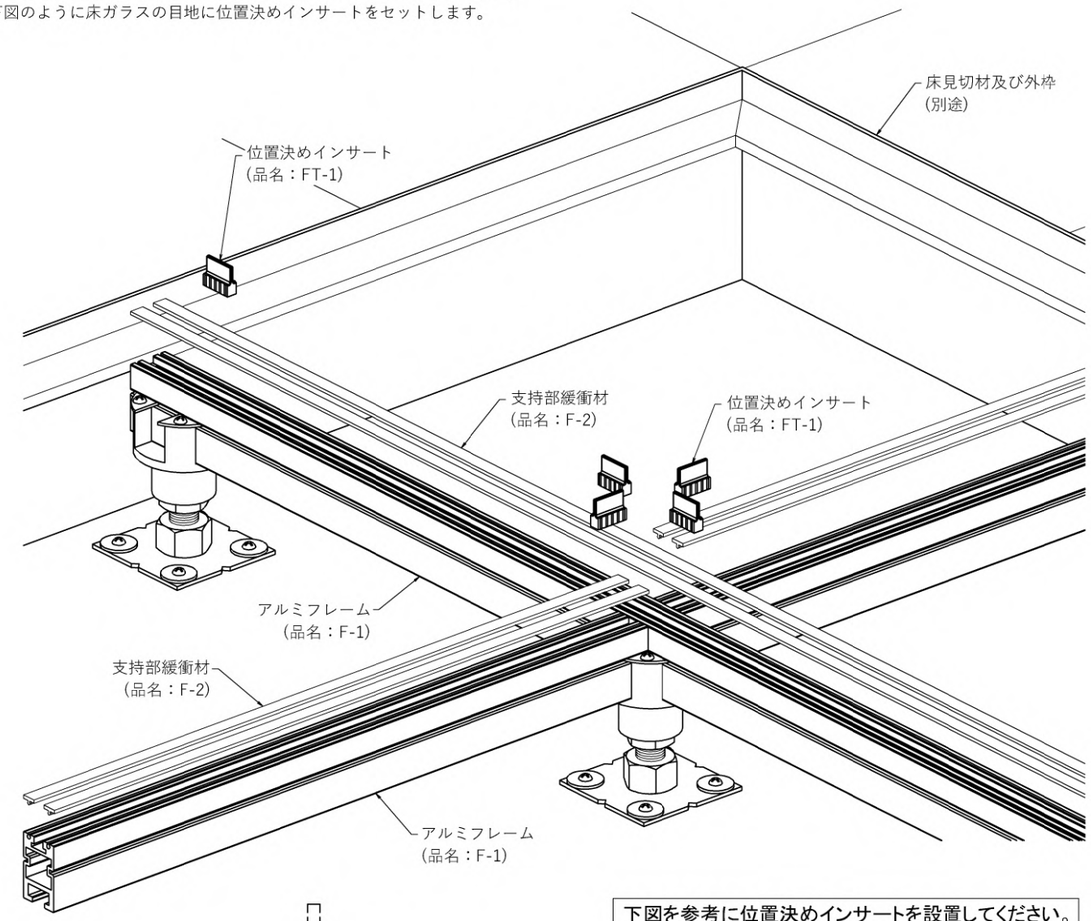


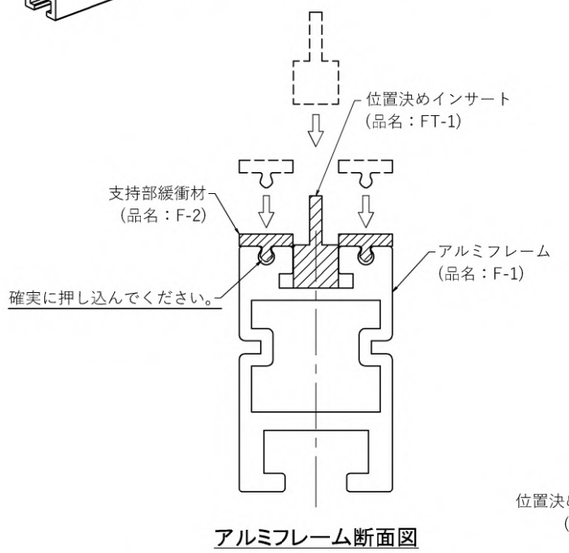
※施工者チェックリスト【5.アルミフレームの設置】を
必ずチェックしてから次にお進みください。

7 緩衝材及びインサートの設置

支持部緩衝材の取り付け及び位置決めインサートの設置

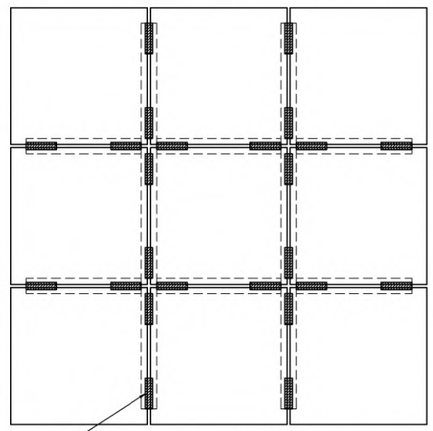
・支持部緩衝材をアルミフレームに合わせて切断し、アルミフレームに押し込んでください。
※支持部緩衝材はアルミフレームより短くならないようにしてください。
・下図のように床ガラスの目地に位置決めインサートをセットします。





アルミフレーム断面図

下図を参考に位置決めインサートを設置してください。



位置決めインサート配置図
床ガラスが9枚の場合です。
(450タイプ、600タイプ共通)

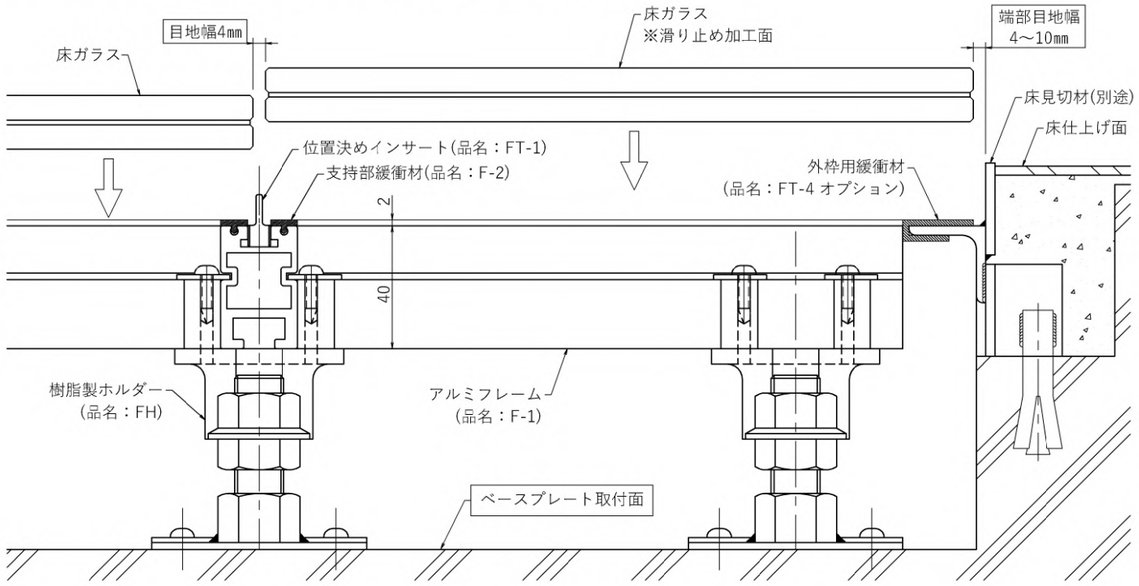
※施工者チェックリスト【6.緩衝材及びインサートの設置】を
必ずチェックしてから次にお進みください。

Copyright 2005 DEVICE, Inc. All rights reserved.

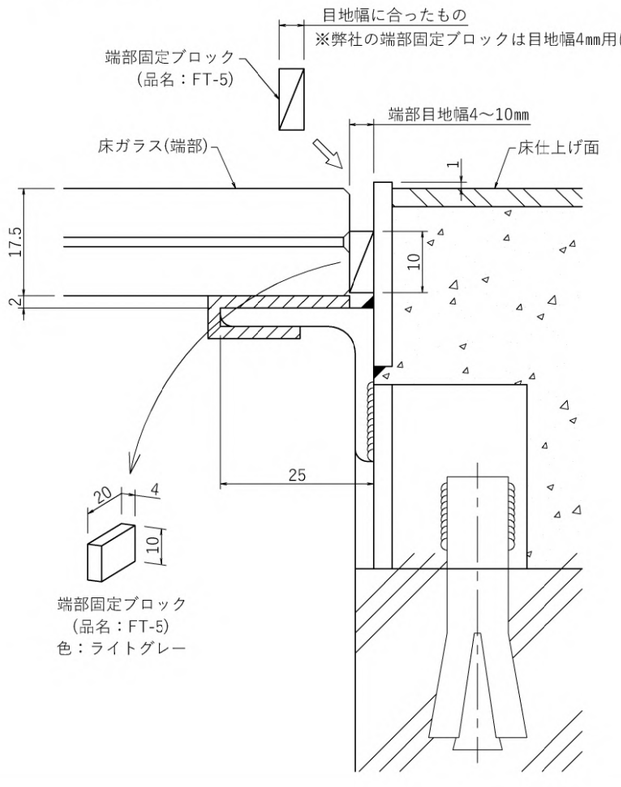
8 床ガラスの設置

8-1 床ガラスの設置

・位置決めインサートをガイドにして床ガラスを載せてください。その際、ガラス同士の目地は4㎜になるように調整してください。
※床ガラスの滑り止め加工面が床仕上げ面になります。
・端部目地寸法は、外枠製作時の目地幅にて調整してください。
※床ガラスを載せる際に、無理に力を加えると破損の原因になりますのでご注意ください。

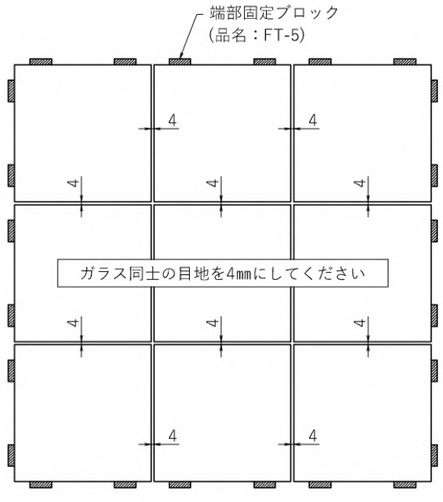


(注) 床ガラスと床見切材との目地部に **端部固定ブロック** を設置してください。設置数は1辺に対して2箇所入れてください。
弊社の端部固定ブロックは目地幅4㎜用になります。
お客様がご用意される場合は、ゴム質系の材料で硬度80程度、L=20㎜程度のものをご用意ください。
目地用シーリング材とご用意されたゴム材との相性をご確認ください。相性が悪い場合シーリングが変色する恐れがありますので
ご注意ください。



注意!!

必ず端部固定ブロックを配置してください。
設置数はガラス一辺に対して2個です。



端部固定ブロックの配置図
床ガラスが9枚の場合です。

8-2 目地部の仕上げ

・目地にバックアップ材を装填してシリコンシール等で適切な施工を行ってください。
※シーリング材はシリコン系のガラス・アルミ用をご使用ください。
酢酸型、アルコール型のシーリング材をご使用の場合、中間膜が変色する可能性があります。
ご使用の際は事前に各シーリングメーカーにご確認ください。

※施工者チェックリスト【7.床ガラスの設置】を
必ずチェックしてから次にお進みください。

Copyright 2005 DEVICE, Inc. All rights reserved.